



## 令和3年度に目指すもの

代表 三枝 忠生

昨年の書面議決による総会に比べ、今年はまん延防止等重点措置下にありましたが、皆様のご協力を得て無事総会が行われました。上々のスタートをきったわけですが、4月後半に第3次緊急事態宣言が発令され、それが延長され、更に再延長されました。この間、会議、ガイドツアー等の一連の活動を中止せざるを得ない状態が続いています。この間、皆様には多大なご迷惑をお掛けし申し訳なく思っています。ただ、一縷の望みはワクチン接種が進みつつあることです。

この禍中において、この4月から新たに新しいガイド（8期生）が加わり、39名体制となります。この新人のガイドたちが、新たな風をおこしてくれるものと期待しております。

令和3年度は、昨年「withコロナ」時代に築き上げたことを更に磨き上げて行きます。

①1班は10人までとし、ガイド1人が付く「1班・1ガイド・10人体制」を推進することにより、「ウォーキングをメインとした企画をするグループ」と「歴史・体験をメインとした企画をするグループ」、双方のスキル向上を図ります。（これはお客様とのコミュニケーションを良くし、その上ガイドのスキルを格段に向上させる効果があります。）

②IT、ホームページ等の積極的活用により会の運営、事務処理の効率化、省力化を図るとともに、お客様へのPR、必要情報の伝達、お客様の確保を図ります。（8期生募集にあたってはQRコードも利用。養成講座では講義を録画し、会員限定でYouTubeにアップ。講義の復習、欠席時の補習等にも利用してもらうなどし、評価をうけました。）

③2025年大阪万博を見据え国際化対応を図ります。（昨年度は英語ガイドの研修の様子がNHKで放映されました。今期は具体的準備行動の時期・ステップ段階とします。）

今年も、お客様には満足を、地域には貢献をしながら、会員自身が楽しめるよう共に頑張りましょう。

## 京田辺市観光ボランティアガイド協会の ホームページ & ブログ と フェイスブックがあります！

これからの行事予定、天候による行事の可否のお知らせ、ガイドの様子など、  
見ることができます！ ご活用ください♪

ホームページアドレスはこちら ↓

<https://kyotanabe-guide-volun.jimdofree.com>



フェイスブックアドレスはこちら ↓

[https://www.facebook.com/  
kyotanabe.volunteer.guide/](https://www.facebook.com/kyotanabe.volunteer.guide/)

フェイスブック  
QRコード↓↓



ホームページ  
QRコード↓↓





# ガイド日誌

京田辺ふれあいハイク 12月11日

「初冬の木津川界限～

山背古道と甘南備山遠景」

よく晴れて温かく天候に恵まれ、井手町や京田辺市の素晴らしい眺めを満喫することができました。

「井手の玉川」は歌枕として古来より多くの歌に詠まれた地です。そのいくつかが石碑で紹介されている玉川堤や小野小町塚を歩き、雅（みやび）の世界に浸ることができました。井堤寺跡などの旧跡からは奈良時代の人「橋諸兄」に思いを馳せられた方もいらしたと思います。また、井手町側から甘南備山を始めとする京田辺市が一望でき、生駒から大和葛城山の遠望も楽しみました。コロナウイルスを心配して参加を控えた方が多かったのか60名の定員に対して、当日は34名の参加でした。さらに、当初予定していた「まちづくりセンター椿坂」も感染予防対策のため入館できず、その近くの「玉川さくら公園」を昼食場所にしました。参加者が密にならないよう各班



7～8人で行動したのも幸いし、ゆったりとしたハイキングを楽しむことができました。（吉川）



京田辺ふれあいハイク 3月3日

～両讃寺に集う仏像の謎～

「霊地 虚空蔵谷と歴史を語る仏様」

霊地として自然信仰の対象とされ、雨乞い祈願の地として霊験あらたかだった虚空蔵谷と一の滝、十三詣りでにぎわう虚空蔵堂、古来から尽きることのない清らかな水が虚空蔵谷川となり朝廷への献上物を育てたという大嘗会田伝承地、大住隼人舞の月読神社そして歴史を語る仏様の集う両讃寺、とそれぞれ深いかかわりのあるおすすめポイントの見学をテーマに歩きました。

特にメインテーマの「両讃寺に集う仏様」については、直接ご住職からお話をお聞きすることができました。本尊は阿弥陀如来ですが寺名の由来となった釈迦三尊像も祀られています。月読神社の神宮寺 福養寺の薬師如来像は、秘仏としてあがめ



られています。四天王像や虚空蔵菩薩菩薩などを引き取ったいきさつなどのお話は興味深く、参加されたみなさんには大変感動的だったようです。

前日は大雨で足元が心配されましたが当日は晴天で、一の滝も無事見学できてお客様には大変喜ばれました。ご住職にはご協力をいただき心から感謝しております。またこうした機会をぜひ持ちたいと思います。その折にはぜひご参加ください。（熊澤）

京田辺ふれあいハイク 11月7日

渡し場跡を巡り木津川の魅力を満喫

「木津川の渡し場跡巡り in 京田辺」

当日朝はかなりの雨。途中で風雨の激化も想定し、対策を充分練り直しお客様をお待ちしました。来て頂けるかと心配でしたが、なんと21名の方にご参加頂きました。

川沿いの遅咲きの桜や榎の大木を鑑賞し、紫のナヨクサフジが咲く堤防沿いをウォーキング。サイクリングロードを兼ねた道ですが、自転車は見かけず、ウォーキングに集中できました。

雨の中、「水主（みずし）の渡し」から7つの渡し場跡の石碑を巡っていききましたが、お客様もこの悪条件を「めったにない機会」と前向きに捉えて下さり、それぞれの石碑に興味を示して下さいました。近鉄の鉄橋付近に昭和40年まであった水泳場をご案内すると、子供の頃に泳いだとい



う方の楽しい思い出話をお聞きすることもできました。用水路の水をコントロールする樋門や排水設備にも関心を頂きました。

草内の渡しでは徳川家康や穴山梅雪に詳しい方々と



Coming Soon!

## 令和3年 今後の行事 見どころ!

「伊賀超え」と大河ドラマの話で盛り上がりました。

悪天候の中でしたが、お客様の前向きな姿勢に大いに助けられた半日でした。

(戸田)

京田辺ふれあいハイク 4月22日  
~咲き誇る無二荘の牡丹園を観賞~  
「新緑の里山と  
歴史を訪ねるハイキング」



ガイド冥利と言ったら私は「発見」と「出会い」と言うだろう。自身がこの企画を大いに楽しむことにあ

る。案内をしたお客様が満足することはもちろんではあるが…。

ハイキングならば景色。生駒山と棚田を望む。春霞の中に若草山と東大寺の大屋根を、目を凝らして観る。自然や植物を肌で感じる。里山の芽吹く樹木の匂いと爽やかな風。クサノオウ(瘡の王)やウラシマソウ(浦島草)が群生。美しい花の代表・咲き誇る牡丹に感嘆する。黄色の牡丹は気品がある。芍薬とどう違う?すべて私の発見と感動なのだ。

お客様との会話、下見のガイド同士の知識の交流、極楽寺住職の法話。無二荘の主、辻尾様の明治以来牡丹園を維持されているお話とご教示。改めて敬意と感謝を表したい。企画責任者ならではの



「出会い」である。

(田中)



9月29日(水)

## 「黄金色の田園風景と牛廻し跡を訪ねて」

かつての大和朝廷は、日本を「豊葦原の瑞穂の国(神意によって稲が豊かに実り、栄える国)」と称し、国家運営の基礎に稲作を置きました。

今回は、大住から松井地区の黄金色の田園風景を満喫していただくとともに、農地の耕運に牛の安全を願って行われていた牛廻し跡を訪ねます。

松井向谷に牛頭天王を祀る塚があります。昔は松の大木がありましたが枯れてしまい、現在は石碑が立っています。昭和30年代中頃まで、毎年6月5日の節句(端午の節句から一月遅れの日)には、松井の各家で飼育している牛を連れてきて、この塚を3回廻らせ、ちまきを与えました。牛は前日からきれいに洗い、角には菖蒲が飾られました。当日は村中仕事を休み、田植え前のひとときの休憩日とし、これが済めば田ごしらえ、田植えと続きます。

次に、棚倉孫神社の本殿は一間社流造りで、南山城地方では最も古い桃山時代の建築と言われ、神に五穀豊穰を感謝する神事として瑞饋神輿が奉納されます。また、月読神社の本殿は一間社春日造で、例祭として10月14日の宵宮には大住隼人舞が奉納されます。是非とも両神社の特徴や神事などをじっくりと見て頂きたいと思えます。

(近藤)

集合: JR京田辺駅 (9:00) **雨天決行**

解散: JR松井山手駅 (12:30頃予定)

参加費: 500円(保険料・資料代)

コース:

JR京田辺駅<集合>→棚倉孫神社→田辺の浜船着場→大住山辺の小径→黄金色の田園風景→月読神社→北部住民センター(休憩)→牛廻し跡→諏訪ヶ原公園→JR松井山手駅<解散> (歩程約7km)

行事のお問い合わせは「京田辺市駅ナカ案内所」へ  
☎ 0774-68-2810 (9:00~17:00)

## ボランティアガイド養成講座終了しました！

平成19年に誕生した当協会のガイドは、7年ほど前のピーク時には40人を超えていましたが、その後減少傾向となり人材を募集するため、概ね隔年でガイド養成講座を開催してきました。

また、近年、体験型ツアーやウオーキングの人気の高まりガイドの依頼も増えてきたため、令和2年度において『未来への懸け橋づくり一緒にしませんか』をキャッチフレーズに受講者を募集したところ、8名の応募があり、去る1月14日（木）から3月18日（木）の週1回、計9日間の講座を開催し、8名全員が修了されました。

この間、京田辺市産業振興課等の職員の方や当協会のガイドが講師となり、ふるさとの魅力を伝えるために必要な姿勢、観光資源の基礎知識を、熱心に学んでいただき、一休寺、大御堂観音寺などの現地見学も併せて実施しました。

なお、今回初めての試みとして養成講座の様子を録画し、youtubeにて限定公開。復習、欠席時の補習等に利用していただきました。

昨今のコロナ禍の状況下ではありますが、初々しい8期生の皆さんの今後のご活躍を期待しています！

（研修部 三宅）